

(2023 年度)

社 会 (その1)

【注意】特に指定がない場合、漢字で表記できる語句は漢字で解答すること

① 歴史上の出来事について説明した①～⑩の3つの文を読み、あとの問いに答えなさい。

- ① ア 富士山が大噴火して、宝永火口ができた。
イ 江戸の大火事で、江戸城の天守閣が焼失した。
ウ 浅間山の大噴火も大きな原因となって、全国的な大火災が起こった。
- ② ア 北条義時を討てという命令を上皇が出した。
イ フビライが都を現在の北京にうつして、国名を元と定めた。
ウ 御成敗式目が制定された。
- ③ ア 北京郊外で日中両国軍の衝突が起こり、日中戦争が始まった。
イ ニューヨークのウォール街で株価が暴落して、世界恐慌が始まった。
ウ 陸軍の青年将校らが政府の要人を殺害し、現在の千代田区周辺を4日間にわたり占拠した。
- ④ ア 日中共同声明が出され、日本と中国の国交が回復した。
イ 日本が国際連合に加盟した。
ウ 日本経済がバブル景気にわいた。
- ⑤ ア 自民党政権に代わって民主党政権が誕生した。
イ 日本では元号が平成と改められた年に、ベルリンの壁が崩壊した。
ウ 日本新党の細川護熙が首相となった。
- ⑥ ア 中国との間に勘合貿易が始まった。
イ 山城国一揆が起こった。
ウ 二条河原の落書が鴨川の河原に掲げられた。
- ⑦ ア 高向玄理や旻が唐から帰国した。
イ 政治改革の中で、豪族の私有地・私有民を廃止して公地公民制に移行する方針が示された。
ウ 小野妹子が中国に派遣された。
- ⑧ ア 治安維持法が成立した。
イ 戦後恐慌に追い打ちをかけるように関東大震災が起こった。
ウ 日本が中国に二十一か条の要求を突きつけた。
- ⑨ ア 宇治の平等院鳳凰堂が建立された。
イ 白河上皇が院政を始めた。
ウ 最澄や空海が日本に新しい仏教を伝えた。
- ⑩ ア ノルマントン号事件が起こった。
イ 民権院設立建白書が政府に提出された。
ウ 西南戦争が起こった。

問1 ①～⑩の3つの文を、時期の古い順にそれぞれ並びかえなさい。

問2 ④のアについて、この時の日本の首相の名前を答えなさい。

問3 ⑤のアについて、次のカ～ケのうち、民主党政権時代の首相として誤っている人物を1つ選びなさい。

カ 鳩山由紀夫 キ 菅直人 ク 野田佳彦 ケ 村山富市

問4 ⑥のウについて、この落書はある人物の行った政治による混乱を風刺しています。その人物の名前を答えなさい。

問5 ⑧のウについて、この時の日本の首相の名前を答えなさい。

2 下の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

1953 年 2 月 1 日に NHK（日本放送協会）によるテレビ本放送が始まってから、昨日で 70 年を迎えました。この年の 8 月からは(1)民放による本放送も開始され、テレビは家族団らんの場に欠かせない存在となります。しかし今日では、(2)テレビを視聴する習慣や形態が大きく変化しています。

日本でテレビの普及率が初めて調査された 1957 年は、白黒テレビを所有する世帯はわずか 7.8%でしたが、10 年後には 96.2%となります。当時の日本は、(3)「金の卵」と呼ばれた中卒の労働者や、(4)「モーレツ社員」「企業戦士」などと呼ばれたサラリーマンに支えられて経済成長をとげると同時に、(5)個人の暮らしも急速に変化しました。特に、(6)各地に続々と建設された団地では最先端の暮らしが営まれ、「団地族」と呼ばれた入居者たちは憧れの対象でした。一方で新しい生活スタイルは、(7)「鍵っ子」の誕生など、新たな社会問題も引き起こしたほか、(8)オイルショックによる物不足や物価高騰といった生活の大混乱の中、1973 年に高度経済成長期は終了しました。

問 1 下線部(1)に関して、1986 年には、各都道府県で最低 4 つの民放を視聴できるようにする「民放テレビ全国四波化」を郵政省（当時）が提言し、地方テレビ局の開局を推進しました。図 1 は、各都道府県で視聴可能な民放局数を示しています。この図から読み取れることがらについて説明した次のア～エのうち、誤りを含むものを 1 つ選びなさい。

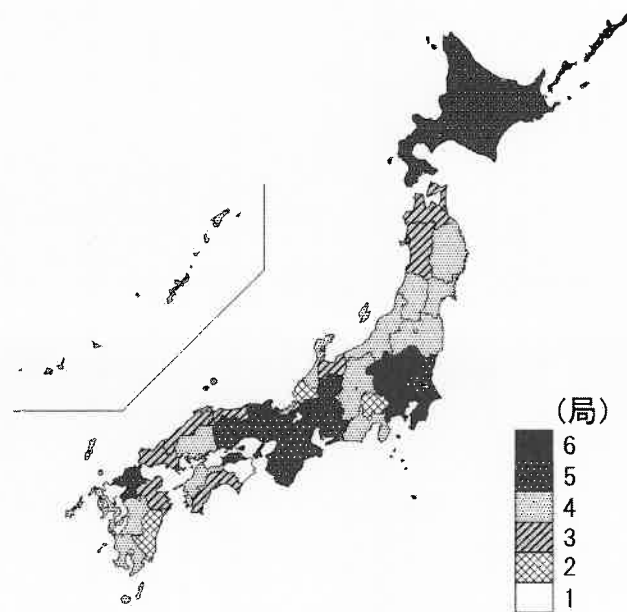


図 1 2021 年度現在。総務省「令和 3 年 情報通信白書」より作成

- ア 人口が多い三大都市圏の自治体では視聴可能な民放局数が多い傾向にある。
- イ 中国地方では「四波化」を達成した自治体は半分に満たない。
- ウ 太平洋側と比べると、日本海側の方が「四波化」未達成の自治体が多い。
- エ 視聴可能な民放が 6 局である自治体は、いずれも新幹線が開通している。

問 2 地域によって視聴できるテレビ局数に差があることで、得られる情報の量や質に格差が生まれます。そのため「民放テレビ全国四波化」が提言されましたが、図 1 が示す通り、現在もその格差は是正されていません。さらに今日では、インターネットなどの通信技術を利用できる人とできない人の間の格差も大きな問題になっています。こうした情報格差の別名をカタカナで答えなさい。

問 3 下線部(2)に関して、テレビの視聴形態の変化から、これまで世帯を単位として調査されてきた視聴率について、新たな調査方法の導入が進んでいます。このことについて説明した次のア～エのうち、下線部に誤りを含むものを 1 つ選びなさい。

- ア 複数のテレビを持つ家庭が増えたため、世帯視聴率ではなく個人視聴率を調査するようになった。
- イ 録画機の普及によりリアルタイムでテレビを視聴しない人が増えたため、タイムシフト視聴率を調査するようになった。
- ウ 携帯電話やタブレット端末の普及によって時間や場所を問わずテレビの視聴が可能になったため、「見逃し配信サービス」の再生回数を調査するようになった。
- エ あらゆる世代に視聴してもらえる番組作りが目指されるようになったため、年代別の視聴率を調査するようになった。

問4 下線部(2)に関して、人々が接するメディア（媒体）は時代とともに変化してきました。インターネット、新聞、テレビ、ラジオのいずれかのメディア別広告費の推移を示した図2中のア～エのうち、テレビに当てはまるものを1つ選びなさい。

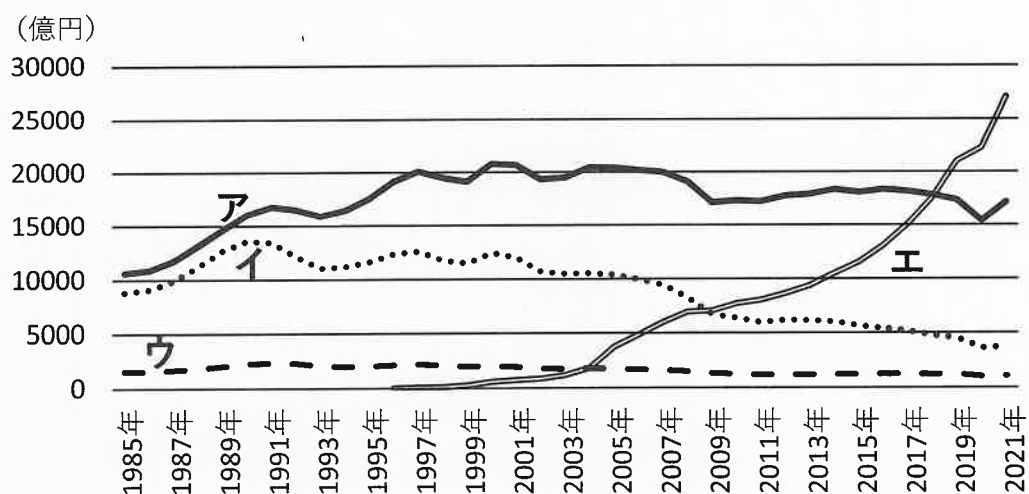


図2 テレビは地上波テレビのみ。電通「日本の広告」より作成

問5 下線部(3)に関して、近年の日本では、この当時の「金の卵」と類似した目的を背景とした人口移動が見られます。一方で、移動の後で生じる問題も当時と大きく変わっていないのが現状です。高度経済成長期の「金の卵」と目的や問題が共通する人口移動について説明した次のア～エのうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- ア 勤務する会社の海外支店に転勤となりフランスに単身赴任したものの、家族と離れて暮らすことになるため、配偶者（夫や妻）の子育ての負担が増える。
- イ 東京の大学を卒業した後、実家が経営する商店を継ぐために地元に戻ったものの、地域の人口減少による売り上げ減少から、経営の多角化を迫られる。
- ウ ウクライナの戦火を逃れて日本に避難したものの、言語や宗教など文化の壁から生活に不自由さを感じる。
- エ 本国の家族に送金するため、故郷よりも高い賃金を求めて実習生として来日したものの、安い賃金の長時間労働を強いられる。

問6 下線部(4)に関して、図3は日本人の年間平均労働時間を示しており、高度経済成長期をピークに労働時間は減少傾向が続いています。また、図4はパートタイム労働者数と、全雇用者に占めるパートタイム労働者の割合の推移を示しています。これらについて説明した次の文中の下線部ア～エのうち、**誤りを含むもの**を1つ選びなさい。

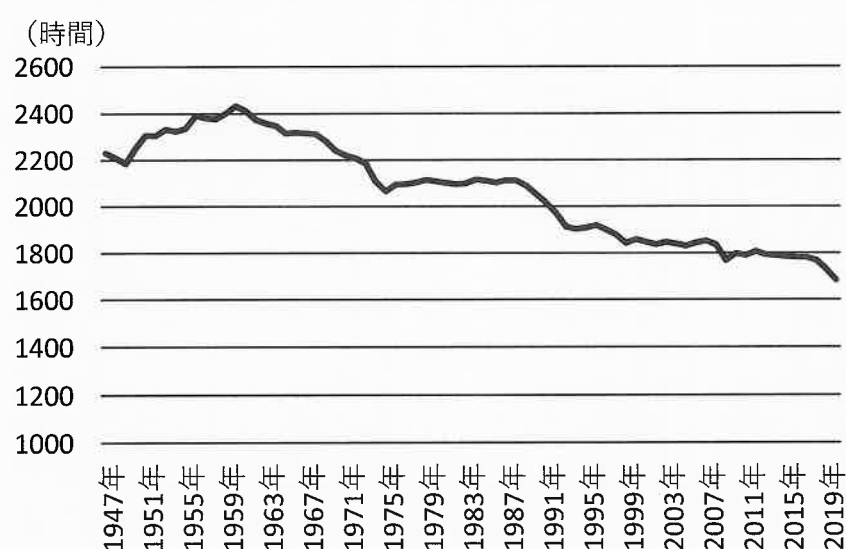


図3 日本人の年間平均労働時間の推移

事業所規模 30 人以上。1969 年以前はサービス業を除く
厚生労働省 「毎月勤労統計調査」より作成

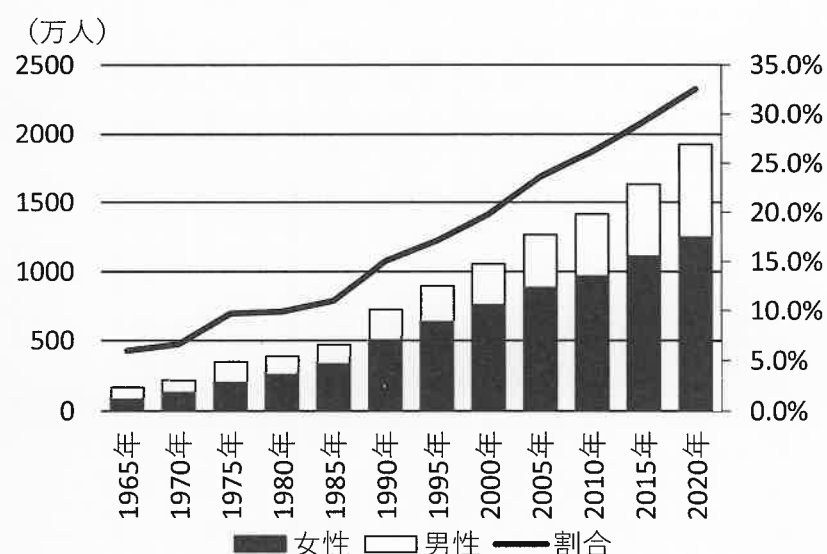


図4 パートタイム労働者数と雇用者全体に占める割合の推移

週 35 時間未満の短時間労働者を指す（農林業は除く）
総務省「労働力調査」より作成

ピーク時と比べると、ア、日本人の年間平均労働時間は約6割まで減少しました。図3と図4を踏まえると、イ、労働時間の減少はパートタイム労働者の増加が一因と考えられるほか、ウ、男性よりも女性の労働時間の方が短いと推測できます。近年では、エ、仕事と生活の調和を意味する「ワークライフバランス」の実現が重視されつつあり、働き方改革が進められていますが、依然として有給休暇取得率の低さや残業時間の長さなどが社会問題となっています。

問 7 下線部(5)に関して、高度経済成長期と紙幣の関係について説明した次の文中の下線部ア～エのうち、**誤りを含むもの**を1つ選びなさい。

日本では 2024 年に紙幣の刷新が予定されていますが、5 千円札や1 万円札のような高額紙幣の歴史は高度経済成長期に始まりました。この当時の高額紙幣の発行は、**ア**、ゆるやかにインフレが進んで物価が上昇したこと、**イ**、技術向上によって偽造対策の強化が可能になったことなどが背景にあります。1 万円札の発行開始から 2 年後の 1960 年には、国民総生産を 10 年以内に 2 倍にすることを目標とした **ウ**、「国民所得倍增計画」を池田勇人内閣が打ち出し、これが高額紙幣のさらなる流通につながりました。現在ではキャッシュレス化が進行しており、これによって **エ**、高額紙幣の需要は今後ますます増加すると予想されています。

問 8 下線部(5)に関して、戦後から高度経済成長期にかけて連載された漫画『サザエさん』では、変化の途上にあったこの時代の生活文化が描かれています。図 5 について説明した A～C の下線部における正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次のア～クの中から 1 つ選びなさい。

- A 高度経済成長期以前の日本は、椅子に座ってテーブルで食事をする習慣がすでに一般的であったことが読み取れる。
- B 高度経済成長期には、和装を普段着とする文化が大人を中心に残っていたことが読み取れる。
- C 高度経済成長期には、家事は女性が行うものというそれまでの価値観が変化し始めたことが読み取れる。

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
A	正	正	正	正	誤	誤	誤	誤
B	正	正	誤	誤	正	正	誤	誤
C	正	誤	正	誤	正	誤	正	誤



図 5
『朝日新聞』1956 年 10 月 27 日朝刊

問 9 下線部(6)に関して、図 6 は日本初の大規模ニュータウンである千里ニュータウン（大阪府）の、開発当初の標準的な間取りを示したもので、それまでの伝統的な生活が大きく変化したことが表れています。団地での生活や、現在生じている問題について説明した次のア～エのうち、**誤りを含むもの**を1つ選びなさい。

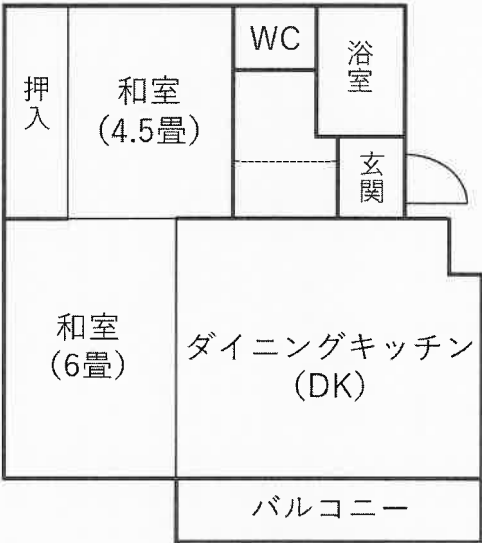


図 6 大阪府『千里ニュータウンの建設』より作成

- ア それまでの一般的な暮らしと比べて、団地では1 家庭当たりの同居人数が多くなった。
- イ 個人が生活・就寝する部屋と、食事をする空間が分離されるようになった。
- ウ 団地では冷蔵庫や洗濯機といった耐久消費財が普及し、家事労働の負担を軽減した。
- エ 団地には子どもを持つ若い夫婦が一斉に入居したため、現在では急速な高齢化が問題となっている。

問 10 下線部(7)に関して、図 7 は日本の児童館の設置数の推移を示したもので、家の鍵を預けられている「鍵っ子」の増加と対応するように、高度経済成長期以降、児童館が急増しました。なぜ「鍵っ子」の増加が児童館の設置につながったのか、図 3 ～図 6 を参考にしながら、「核家族」「三世代」「母親」という言葉を全て用いて説明しなさい。

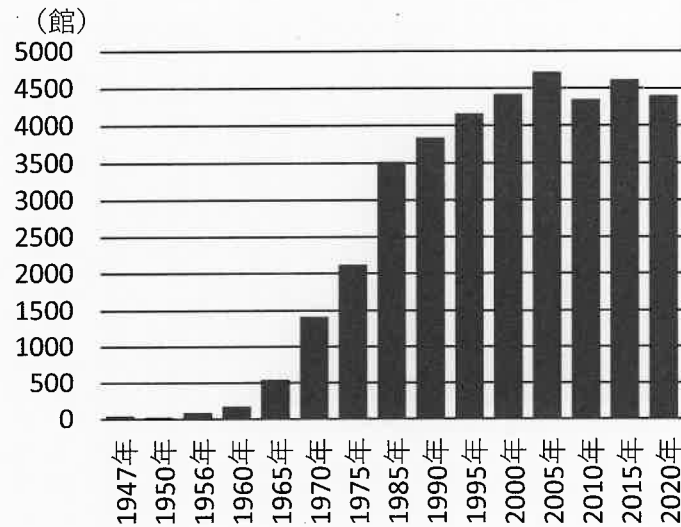


図 7 厚生労働省「社会福祉施設等調査」より作成

問 11 下線部(8)に関して、1973 年のオイルショックの後、日本は石油代替エネルギーの開発・導入を進めました。しかし、2022 年の夏には政府が国民への節電を呼びかけたほか、経済産業省が「節ガス」を要請する制度の検討を行うなど、資源供給にリスクを抱えているという基本的な状況は当時とそれほど変わっていません。このように高度経済成長期から現在まで 50 年以上続くリスクについて、「化石燃料」「発電」「輸入」という言葉を全て用いて説明しなさい。

3 下の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

次の文は、テレビのニュース番組を観ている、次郎とその父の会話です。

次郎 「ねえ、お父さん。あれは何をしているの？」

父 「あれは最高裁判所の裁判官の A といって、その紙に書かれている人達の中で(1)最高裁判所の裁判官としてふさわしくないと思う人に×をつけて投票しているんだよ」

次郎 「何でそんなことをするの？」

父 「(2)司法を担っている裁判所のうち、最高裁判所の裁判官については、投票用紙に書かれている裁判官が本当に最高裁判所の裁判官としてふさわしいかを判断する機会が、主権者である国民に与えられているんだ」

次郎 「裁判官って大変な仕事なんだよね」

父 「そうだね。次郎も学校で習ったと思うけど、日本も国家権力の集中を防ぐために、(3)国家権力を立法権・行政権・司法権に分ける三権分立の仕組みをとっているんだよ。その中で司法は、社会における様々な争いについて、法に基づいて裁判を行い、(4)国民の権利と自由を保障するという大切な役割を担っているんだ」

次郎 「司法って大切なんだね」

父 「そうだね。その中でも最高裁判所は、『一切の法律、命令、規則又は処分が憲法に適合するかしないかを決定する権限を有する B 裁判所』という憲法の規定に基づいて最終的な判断を下す裁判所で、社会の秩序を守る大切な役割を与えられているから、本当に大変だろうね」

次郎 「ねえ、お父さん。僕はまだ本当の(5)裁判を見たことがないから、今度裁判を見に連れていってくれない？」

父 「そうだね。夏休みにでも行ってみようか。それまでに次郎も裁判所について学んでおいてね」

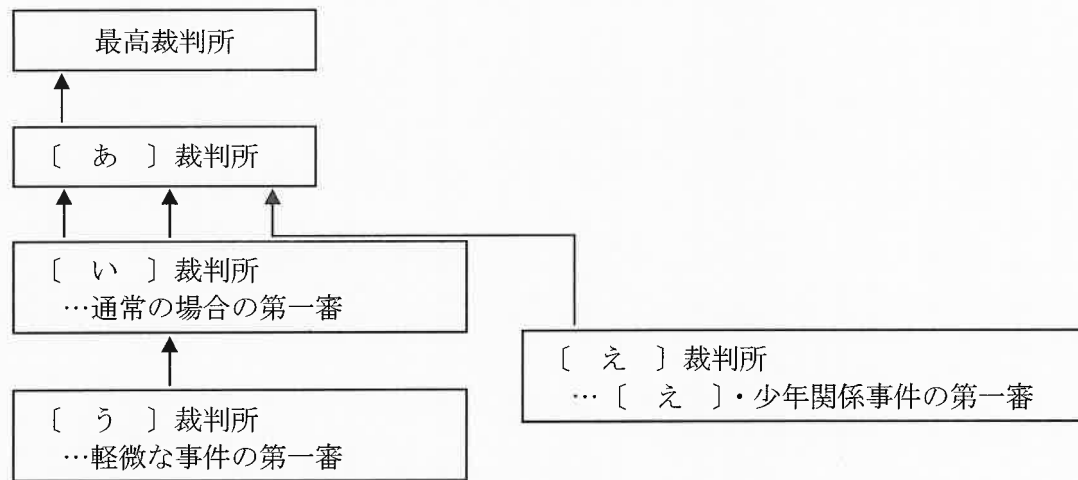
問 1 文章中の空欄 A に当てはまる語句として最も適切なものを次のア～エの中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

ア 国民投票 イ 住民投票 ウ 国民審査 エ 住民発案

問 2 文章中の空欄 B に当てはまる語句として最も適切なものを次のア～エの中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

ア 特別 イ 終審 ウ 上級 エ 憲法

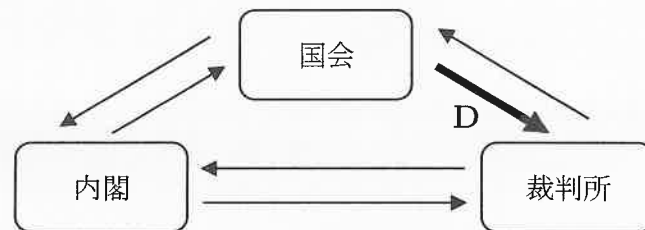
問3 下線部(1)に関して、教科書を読んだ次郎くんは、裁判所には最高裁判所以外にもいくつか種類があることを知り、次の図のようにノートにまとめました。図中の空欄〔 あ 〕～〔 え 〕に当てはまる適切な言葉をそれぞれ答えなさい。



問4 下線部(2)に関して、裁判所や裁判官について説明した次のア～エのうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- ア 裁判官は、国会の承認に基づいて内閣が任命する。
- イ 下級裁判所は、違憲審査を行うことができない。
- ウ 国の機関に対する訴えについては、行政裁判所が裁判を行う。
- エ 裁判官は、良心に従い独立して職権を行う。

問5 下線部(3)に関して、下の図中の矢印Dに当てはまる機能として最も適切なものを次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。



- ア 内閣総理大臣の指名 イ 弾劾裁判所の設置 ウ 国政調査権 エ 違憲法令（立法）審査権

問6 下線部(4)に関して、身体的自由について説明した次のア～エのうち、誤りを含むものを1つ選びなさい。

- ア 自己に不利益な供述を強要されないように黙秘権を保障している。
- イ 警察官の発する令状がなければ逮捕されない。
- ウ 一度判決が確定した事件について、再び刑事上の責任は問われない。
- エ 刑事被告人は、公開裁判を受ける権利を有する。

問7 下線部(5)に関して、これまでに裁判所が下した判決の内容について説明した次のA～Cのうち、正しいものの組み合わせを1つ選びなさい。

- A 日本では、日本人と外国人の間に生まれた子どもは、父母が婚姻していない限り日本国籍を取得することができない。
- B 国政選挙について、1票の格差をめぐって違憲状態にあるとの判決を裁判所が出したことはない。
- C 裁判所は、プライバシーの侵害を理由として出版の差し止めを認めたことがある。

- ア A イ B ウ C エ AとB オ AとC カ BとC キ AとBとC

受験番号	
------	--

氏名	
----	--

(2023年度) 社 会 解 答 用 紙

1	問1-① → →	② → →	③ → →	④ → →
	⑤ → →	⑥ → →	⑦ → →	⑧ → →
	⑨ → →	⑩ → →	問2	問3
	問4	問5		

2	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7
	問8	問9					
	問10						
	問11						

3	問1	問2	問3-あ	い	う	え	問4
	問5	問6	問7				